

『必ず、と言われた』(ルカの福音書 24 章 1-12 節) 2022.4.17.イースター
<はじめに> 何があれば、ある出来事が本当だ、と受け入れられるでしょう。それが揃えば、どんな人でも頷くでしょうか。同じ時に同じことを経験・目撃・伝聞していても、受け取り方が全く分かれてしまうことなどあるでしょうか。

I 証拠を見た

①ガリラヤから来ていた女たち(23:53-56、24:1)

彼女たちは、十字架で死なれたイエスのからだを真新しい墓に納めた際にも立ち会っていました(23:55)。安息日を越えた週の初めの日の明け方早くに、彼女たちは香料・香油を手にして墓を訪れました。そこで予期せぬ状況を彼女たちは見たのです。

②女たちが見たもの(1-3)

墓の入口をふさぐ大きな石が脇に転がされ、墓の中にイエスのからだは見当たりません。途方に暮れる彼女たちは、この状況からイエス(のからだ)はどうなったと捉えたでしょう。ヨハネ 20:2,15、マタイ 28:11-15 にも、この状況に接した人たちが描かれています。

③ペテロが見たもの(9-12)

彼女たちから報告を聞いて、ペテロは走って墓に行きました。そこで彼が見たのは、イエスのからだを包んでいた亜麻布だけでした。彼女たちの証言はたわごとでしたか。これらの証拠に接して、イエスがよみがえられた、と彼ら・彼女らは信じるに至りましたか。

II 証言を聞いた

①御使いの証言(4-7)

途方に暮れる女たちに主の使いが近づき、語り掛けます。彼らはイエスのことを「生きている方」と言い、よみがえられたと証言しています(5-6)。それは現実と矛盾するでしょうか。それでも、素直にこの証言を受け取れないのはどうしてでしょうか(11)。

②イエスの証言(6-7)

主イエスは予め十字架と復活について語っていました。それは信じがたいことでしたが、現実にイエスは捕らえられて十字架で死なれました。イエスが予め語られたのは、すぐに信じられなくても、それらが実現した時に信じるための布石でした。

③イエスはよみがえられた(6)

死者の復活など信じられない、とよく聞きます。しかし、人が死んでもどこかにいる、と漠然と信じている人は少なくありません。聖書は復活を説明していませんが、証拠と証言を示し、さらに個人的に復活の主に出会った人たちが(31-35)がそのことを伝えています。

<おわりに> イエスの復活は、イエスのことばが真実であることを証ししています。死は終わりではなく、その先に続く永遠のいのちの希望を示します。そして、今もイエスのことばを聞いて信じる人が興されています。あなたはイエスがよみがえられたと信じますか。(H.M.)